

第6回市川・荷風忌

日本を代表する文豪・永井荷風（ながいかふう）は、欧米から帰朝後、近代化で失われゆく、日本の江戸文化に目を向け、路地を愛し『江戸芸術論』や玉の井（現墨田区）を舞台にした小説『遷東綺譚』などを書き上げました。1946年（昭和21）1月から市川市菅野に暮らし、日記文学の最高峰「断腸亭日乗」をしたためるなどし、1959年（昭和34）4月30日未明、市川市八幡で、79歳の生涯を閉じました。市民が発起人となって開催される「市川・荷風忌」を、今年も開催します。

日時 平成26年 5月3日（土・祝）
14時30分～16時30分（開場14時）
場所 市川市生涯学習センター2階 グリーンスタジオ
定員 220名 無料（申込不要）

- ・朗読 市民による永井荷風の短歌朗読
- ・紹介映像 山本高樹氏（ジオラマ作家）
- ・トーク 山本高樹氏 「荷風のいる風景」
- ・トーク 寺島 玄氏（NPO法人あらかわ学会・会員）
「荷風と源氏物語」
- ・フロアトーク
終了後、大黒家にて懇談会を予定（希望者）

★期間中、山本高樹氏制作のジオラマ 公開 「京成八幡駅界隈—昭和幻風景」
「永井荷風終焉の家」（新作初披露）

「市川・荷風忌」実行委員会

秋山忠彌（江戸史研究家）
岡本文子（和洋女子大学教授）
梶山俊夫（画家）
神作光一（歌人）
神田重幸（東洋大学名誉教授）
木谷喜美枝（和洋女子大学教授）
吉清英夫（月刊「いちかわ」編集発行人）
能村研三（俳人）
葉山修平（作家）
増山孝子（大黒家女将）
山崎敬生（風の会）
吉井道郎（作家）
吉原 廣（劇作・演出家）

